

## 平成28年度 第2回（10／18） 有識者会議について

### ■今回の会議の開催趣旨

昨年12月に、有識者の皆様から様々な意見を頂き、「小城市まち・ひと・しごと総合戦略」（以下「総合戦略」）を策定させていただきました。

今年度から進捗管理を行っておりますが、当初設定しているKPI（重要業績評価指標）の文言がわかりにくい、市の最上位計画で平成29年度からスタートする第2次総合計画の成果指標と整合を図る（第2次総合計画策定途中の成果指標の数字を総合戦略のKPIに使っており、変更になったものがある）などの理由により、変更が生じた項目があるため、総合戦略を改訂する必要性が出て参りました。

つきましては、平成27年度の実績を報告をさせていただいた上で、総合戦略の改訂、平成27年度の実績報告の内容について、皆様から意見をいただきたく会議を開催するものです。

### ■KPIについて

KPI=Key Performance Indicator 日本語で、「重要業績評価指標」と訳されます。

強化する施策・基本的な取り組み	重要業績評価指標 (KPI)	H26	H27	H31
		基準数値	実績値	目標数値
(3)特産品開発・組織の育成				
起業支援を推進しながら6次産業化を加速させ、農商工学連携等による商品開発取組を行う組織へ支援する。	・新たに6次産業等で支援した農産品の総数	4品	6品	10品

総合戦略の取組の1項目を抜粋して参考に添付しています。

KPIとは、達成したい取り組みに対しどれだけの進捗がみられたか、達成状況を評価するための指標です。

上記総合戦略の抜粋を参考にすると、

取り組み：起業支援を推進しながら6次産業化を加速させ、農商工学連携等による商品開発取組を行う組織へ支援する。

この取り組みの達成状況を評価するための指標として設定しているKPIが、上記総合戦略の抜粋では、

KPI：新たに6次産業等で支援した農産品の総数

平成26年度の実績が4品、平成31年度の目標が10品となっていることから、数が増えることを目的にしている指標となっています。

平成27年度の実績値が6品と、KPI「新たに6次産業等で支援した農産品の総数」が増えていることから、目標達成に向け成果が上がっていると評価できます。

つまり、KPIの数値によって、取組の達成具合を確認、評価することになりますので、指標としては非常に重要なものと言えます。